

「旧手賀教会堂染織品」調査

1 概要

旧手賀教会堂（千葉県指定文化財）で使われていた染織品（祭礼服飾品 9 点）の形態，素材，製作技法及び保存状態の基礎調査を行い，調査結果を記述及び作図，写真で示し，作品の歴史的評価ならびに保存状態の評価を行う。

2 対象資料

- (1) 資料番号 101：司祭祭服（下着）
- (2) 資料番号 102：司祭祭服（エピトラヒリ）
- (3) 資料番号 103：司祭祭服（籠手）
- (4) 資料番号 104：司祭祭服（籠手）
- (5) 資料番号 105：司祭祭服（帯）
- (6) 資料番号 106：司祭祭服（フェロン）
- (7) 資料番号 107：堂役衣装
- (8) 資料番号 108：葬礼時衣装（法被）
- (9) 資料番号 125：棺掛け（葬礼用）

3 成果

調査では，祭礼服飾品の素材や仕立て及び状態に関して，目視と実体顕微鏡で観察，生地 of 金属糸の成分を携行型蛍光 X 線分析機で分析，文献を調査した結果，歴史的評価を検討するにあたり必要な情報を収集した。

祭礼服の主な記事には，18 世紀後半や 19 世紀前半のフランス製と考えられる高級な生地を再利用して仕立て直された痕跡が見られた。

また，汚れや破れが著しい服飾品でも，修復を行えば取り扱いが安全となり，展示活用できる状態であることも判明した。

資料番号 101 司祭祭服（下着）

（エピトラトリ）



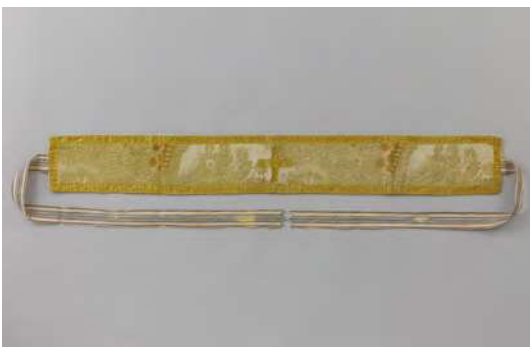
資料番号 103 司祭祭服（籠手）



資料番号 104 司祭祭服（籠手）



資料番号 105 司祭祭服（帯）



資料番号 106

司祭祭服（フェロン）



資料番号 107

堂役衣装



資料番号 108

葬礼時衣装（法被）



資料番号 125 棺掛け（葬礼用）

